

安心してください！ 防災やっていますよ！

シリーズ『防災・思いの丈』。今回は「防災活動の目指すところ」について考えてみましょう。

ひとくちに「防災」と言っても、**行政が行う防災**、**企業が行う防災**、**一般市民が行う防災**では目指すところが違います。

行政が行う防災の基本は「災害対策基本法・第一条」に則り『**国土と国民の生命、身体及び財産を災害から保護**するため、防災に関し、基本理念を定め...中略...総合的かつ計画的な防災行政の整備及び推進を図り、社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資すること』を目的に活動すると制定されています。

企業が行う防災の基本は「**防災と事業継続の基本理念**」からなる場合が多いようです。内閣府防災担当サイト内に『地震など自然災害を未然に防ぐことはできませんが、事前の備えによって災害被害を減らすことは可能です。自社のためにも、社会のためにも、企業の防災を推進しましょう』とあり、地震などによる災害被害を最小化する「**防災**」の観点と、災害時の企業活動の維持または早期回復を目指す「**事業継続**」の観点があると記載されています。「**防災**」では、**従業員や顧客の安全を第一**に防災活動に取り組み、地域の一人として、被害の軽減及び災害復旧・復興に貢献することなどを目的に活動し「**事業継続**」では、**災害や事故で被害を受けても取引先等の利害関係者から重要な業務が中断しないこと**、**中断しても短い期間で再開すること**などを目的に防災活動を行うなどの指針が示されています。



市民が行う防災の基本は「災害対策基本法・第七条」に則り、『**食品、飲料水その他の生活必需物資の備蓄、その他の自ら災害に備えるための手段を講ずると共に防災訓練やその他の自発的な防災活動への参加**過去の災害から得られた教訓の伝承、その他の取り組みにより防災に寄与するように努めなければならない』と制定されています。

しかし、**市民が行う防災の基本**を踏まえても「具体的な防災活動」とは、備蓄以外に何をすれば良いのかがあまり示されておらず、特に一般市民は何をすべきか？今ひとつよく判らないのが現状です。

ならば、市民が行う**防災活動とは何をやれば良いのか**を考えてみましょう。現在、防災活動とは何なのかを考えると、市民が活動する自主防災組織の人たちは次のような活動を行っていることが多いのではないのでしょうか。『通報、消火、避難誘導、救助、応急処置

避難所運営、炊き出し等』です。でも、少し見方を変えてみてください。これらは、災害が発生した後の**事後処理活動**だとは思いませんか？「**生き残った人だけが助け合うシステムの構築**」を防災活動と称して行っている場合が多いように見受けられます。言い換えれば「**災害発生の瞬間に亡くなった人は対象外！**」の活動を防災活動として行われている場合が多く、どうも「**防災のスタートライン**」を引き間違えているように思えます。

決して、それらを間違った防災活動だと申し上げているわけではありません。これらを行う以前にやるべきことがあるのではないのでしょうか？

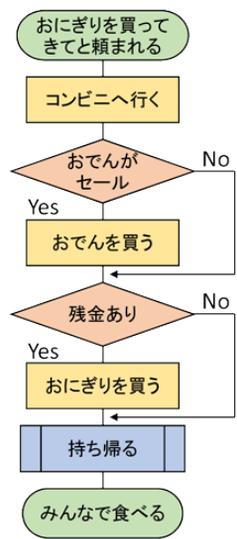
スタートラインの間違いは「**自分が生き残ったことを大前提とした活動**」と云うことです。何を根拠に「**自分は死なない正義の味方スーパーマン！**」と言い切れるのでしょうか？



やはり「**防災活動**」は、着眼点をどこに置き、どのように活動をすれば良いのかを『**定義**』することから始める必要があるのです。

第一には「**災害発生の瞬間に死なない対策の重要性**」であり、死なない為の事前準備こそが「**本当の防災活動**」ではないのでしょうか。でも「絶対に死なない！」と、言い切ることは不可能でしょう。しかし、「**限りなく死なない対策**」を行うことは可能です。それには防災活動を継続するモチベーション（やる気・動機づけ）が必要です。大きな災害が発生するたびに「**やらなければ！備蓄しよう！**」と一時的に盛り上がりますが、昔から「**災害は忘れた頃にやってくる**」とされているように、継続が途切れた頃を見計らって**災害は襲ってくる**ように思います。

防災活動モチベーションを維持するために、必要なことがあります。「**何のために防災活動をするのかを定義すること**」が最も重要です。その第一の定義となるのが「**防災とは自分の大切な人を守ること**」です。大切な人を守り抜くために、自分も死んではいけないと云うことです。その為にも、自分の命を守ることを最優先にお互いに行動し合う集合体「**家族・まち・チーム**」を創り上げることが重要であり、「**共に助かる**」その為は何をすべきかを考える「**防災フローチャート**」を共に考えることです。フローチャートとは、仕事の流れや処理の手順を図形化した樹形図です。その中で「**生き残るフローチャート**」を作ることでやるべき防災活動が見えてくるのです。次号は**防災フローチャート**を作る。



フローチャート例